

コネクテッドサービスのオンデマンド機能（FoD）ビジネスモデルの動向と成長機会

【概要】

本調査では、コネクテッドサービスのオンデマンド機能（FoD）ビジネスモデルの動向と成長機会について分析しています。具体的には、FoD市場におけるOEMの成長機会、市場の促進要因と阻害要因、OEMに提供されるサービスの種類と各サービスの今後5年間の収益シェア、FoDを提供する主な参入企業/OEMなどが含まれています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2020年から2025年までです。

【内容一覧】

戦略的重点

成長機会分析

- オンデマンド機能（FoD）サービスの調査範囲
- ハードウェアからソフトウェアビジネスへの移行
- 新しいビジネスモデルをサポートする顧客トレンドの変化
- 未来型の自動車
- ライフサイクルを通じた価値創造
- 将来の FoD サービスの範囲
- FoD サービスの定義とセグメンテーション
- FoD サービス市場セグメンテーション
- FoD サービスの主な競合他社
- FoD サービスの主な成長指標
- FoD サービスの成長促進要因
- FoD サービスの成長阻害要因

主要動向とテクノロジー

- 試験的な FoD サービス
- オンデマンドビジネスのテクノロジーの前提条件
- 変化するコネクティビティの定義：Tesla の FoD
- コネクティビティの影響
- 未来のビジネスモデルにおけるコネクティビティの効果
- E / E アーキテクチャの進化
- E / E アーキテクチャ再定義のためのサービス主導型ビジネスのニーズ

- FoD の機能領域の成熟度
 - ケーススタディ：VW
 - FoD の普及に影響を与える OTA の動向
 - OTA フェーズと OEM 戦略
 - 自動車メーカーによる OTA アップデート：欧州
 - 自動車メーカーの OTA の動向
 - ケーススタディ：Tesla の OTA 戦略の事例
 - ビジネスモデルの変化：自動車メーカーへの推奨事項
 - FoD へのアクセスの種類と提供方法
 - 車内決済オプション：カードとデジタルウォレット
 - 車内決済：仲介業者とサービスの種類
 - 車内 FoD 決済の主なビジネスモデル
 - FoD 購入のための OEM の決済プラットフォーム
 - サービスプロバイダーの決済プラットフォーム
 - 将来のデジタル決済オプション
 - 車内決済の今後の動向
 - ケーススタディ：Tesla の車内決済
 - FoD の実装における規制上および法律上の課題
 - FoD に影響を与える主な規制と規格
- 自動車メーカーのポートフォリオ：グローバル
- 自動車メーカーの FoD 戦略の概況
 - 機能領域のベンチマーク：全体
 - パッケージングと価格の概況
 - 自動車メーカーから提供の可能性のある FoD 機能
 - Audi：FoD サービス
 - BMW：FoD サービス
 - Mercedes Benz：FoD サービス
 - Porsche：FoD サービス
 - Tesla：FoD サービス
 - ケーススタディ：Tesla のロケーションベースのサスペンション
 - ケーススタディ：Tesla の OTA アップデート
 - VW：FoD サービス
 - Skoda：FoD サービス
 - 予測の仮定
 - FoD サービス：サービス別の普及率予測
 - インフォテインメントサービス：価格設定モデル別の収益予測
 - ナビゲーションサービス：価格モデル別の収益予測
 - Wi-Fi ホットスポットサービス：価格モデル別の収益予測
 - リモートサービス：価格モデル別の収益予測
 - 安全とセキュリティサービス：価格設定モデル別の収益予測

- コンシェルジュサービス：価格設定モデル別の収益予測
- ADAS および自動運転サービス：価格設定モデル別の収益予測
- コンビニエンスサービス：価格設定モデル別の収益予測
- EV 固有のサービス-価格モデル別の収益予測
- 完全自動運転サービス：価格設定モデル別の収益予測
- FoD サービス：価格設定モデル別の収益予測

成長機会のまとめ

次のステップ